

国語 六一一	中学校第一学年の内容 表現技法①	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

1 次の文の中から比喩ひゆの部分を見つけて線を引きましょう。また、比喩の種類を、あとのア〜ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 彼はライオンのように走っていた。 (ア)
- ② あの子は人形みたいにかわいいね。 (ア)
- ③ 雨が降らず、まるで砂漠さばくのようだ。 (ア)
- ④ 人生は航海だ。 (イ)
- ⑤ 山が笑っている。 (ウ)

ア 直喩 イ 隠喩いんゆ ウ 擬人法

2 次の文中で使われている表現技法は何ですか。あとのア〜ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 静かさや岩にしみいる蝉の声 (ア)
- ② 彼は遠い遠い国へ行ってしまった。 (ウ)
- ③ 歩いていく、どんな困難あに遭おうとも。 (イ)
- ④ 空に飛び立つ鳥。 (ア)
- ⑤ それは小さな小さな花でした。 (ウ)

ア 体言止め イ 倒置法 ウ 反復法

国語 六一二	中学校第一学年の内容 表現技法②	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

◎次の文の中で使われている表現技法は何ですか。あとのア～キの中から選び、記号で書きましよう。

- ① 歩いていく、どんな困難に遭^あおうとも。(イ)
- ② あの人は鬼だ。(カ)
- ③ 彼女の歌声はまるで波のようだった。(オ)
- ④ あなたは天使だ。(カ)
- ⑤ 帰ってきたよ、彼が。(イ)
- ⑥ 海が怒っている。(キ)
- ⑦ 大きな大きなお城がありました。(ウ)
- ⑧ 自分の意志を貫く、誰に反対されようと。(イ)
- ⑨ 教室から聞こえる男の子たちの声。(ア)
- ⑩ 雲が泣いている。(キ)

- ア 体言止め
- イ 倒置法
- ウ 反復法
- エ 省略法
- オ 直喩
- カ 隠喩^{いんゆ}
- キ 擬人法

国語 六一三	中学校第一学年の内容 表現技法③	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文中の擬音（声）語・擬態語の部分に線を引きましょう。

- ① 雨がザーザー降ってきた。
- ② スズメがチュンチュン鳴いている。
- ③ 壁をドンドンたたたく音がする。
- ④ 穴の中に、手がするりと入った。
- ⑤ おむすびが、ころころと転がっていきましたとき。
- ⑥ 子犬がワンワンと鳴いている。
- ⑦ 糸をぴんと張る。
- ⑧ 雲がふわふわとただよっている。
- ⑨ 目の前がぐるぐると回るようだった。
- ⑩ 北風がピューピュー吹いています。

国語 六一四	中学校第一学年の内容 表現技法④	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文を指示どおりに書き直しましょう。

倒置法を使う

- ① そんなことは、やめろ。
(やめろ、そんなことは。)
- ② 遊園地へ行こうよ。
(行こうよ、遊園地へ。)
- ③ 東京に、明日帰るよ。
(明日帰るよ、東京に。)

直喩で表現する

- ④ 山が笑っている。
(まるで山が笑っているようだ。)
- ⑤ 海が怒っている。
(まるで海が怒っているようだ。)

隠喩で表現する

- ⑥ 君はまるで太陽のようだ。
(君は太陽だ。)
- ⑦ そこはまるで楽園のようだった。
(そこは楽園だった。)

体言止めにする

- ⑧ あの人の声はとても大きい。
(とても大きいあの人の声。)
- ⑨ 彼女の笑顔はとてもすてきだ。
(とてもすてきな彼女の笑顔。)